

# 広報新聞

むつ青年会議所

副理事長 高屋 龍一



## 挨拶

副理事長の役目というのは組織の職務分掌上、明記はされていません。会の執行部としてむつ青年会議所全体のことを理事長の補佐としてやっていくこと。また、理事長と担当委員会の間に入り委員長が円滑に事業を進めていくための補佐と考えています。自分が発案し委員と協力して事業を進めていく委員長とは違い、委員長や委員の気づきや成長を考え促さなければいけない立場では、私の意見を押し通すわけにもいかず、「自分でやった方が楽だ!」と思う歯がゆさも感じておりますが、委員会メンバーの成長に役立つことが副理事長の役目であり自分の成長となる!はずと思ひ努めさせていただきます。

## 三月定例会

JAYCEE育成室室長

山口 春樹



JAYCEE育成室では、3月定例会にて「むつJJC知識共有ミーティング」と題して、様々なシーンで適用されるむつ青年会議所のローカルルールを洗い出し、全会員で改めて共有することによる行動規範の統一を目指す例会を開催いたしました。通例であれば講師や先輩など外

部からの知識を取り入れる事業が多くを占める育成事業ですが、まずは内部の知識や情報を整理して共有することを目的としました。「セレモニー定例会・総会・事業」、「JAYCEEとしてのドレスコード・テーブルマナー」、「JJC活動や委員会活動、会員同士のルール」、「対外的な所作(OB、取引先、関係団体、家族、自社の人間)」この4つのカテゴリーを設け、暦の長いメンバーから、暦の浅いメンバーまで、さまざまな意見を洗い出すことができました。今回出た様々な意見を精査し、メンバー共通の指針としてまとめ、配布する予定です。ご参加いただき、活発に意見をを出していただいたメンバーの皆様、本当にありがとうございました。

## 四月定例会

まちづくり委員会 委員長

新谷 周二



四月十四日にまさかりプラザにおいて四月定例会を開催しました。「下北ジオパークをどう活かすか」と題して、むつ市役所企画部ジオパーク推進課の石川智様に講師を依頼した例会でしたが、今まで自分が生まれ育ってきた地域の事をほとんど意識しないで生活してきたことを痛感しました。この会のおかげで、改めてむつ下北の地域の素晴らしさを再確認できたと思います。これからは、むつ市民また会議所の一員としてできるだけ地域に根差した活動を展開していけるよう精進したいと思っております。

# 清掃ボランティア活動



四月十五日

下北半島活性化研究会様むつ湾岸清掃



四月二十一日

小さな親切運動むつ支部様事業  
「クリーン大作戦」

# 日本青年会議所 青森ブロッック協議会

ひとつづくり委員会 委員

大谷 直



四月二十三日に公益社団法人日本青年会議所青森ブロック協議会が主催する「全国一斉！国民討議会青森大会」がねぶたの家ワ・ラッセで開催されました。憲法輿論を確立し自立した主権者としての意識を向上することを目的とするもので、①緊急事態条項を創設すべきか、②現行憲法九条に自衛隊について明記すべきか、というテーマで討議を行いました。憲法は、私たち一人ひとりの個人の尊厳を根本価値とし国家権力を制限し国民の人権を保護する国の最高法規です。来る憲法改正の発議に備えて主役である私たち一人ひとりが憲法について学び考えることが求められます。

# 日本青年会議所

## 地区会頭公式訪問

総務委員会 委員長

成田 圭秀



三月十五日、山形の地において入会三年未満の会員を対象に日本青年会議所二〇一七年度会頭の講演、及びクロストークに山道理事長、道川常任理事同行のもと、僭越ながら参加させていただきました。青木会頭の講演では「JCIは私達、青年経済人のツールの一つである」。あくまでJCIは手段であり、目的は我々地域に携わる青年経済人及びその企業の発展であると、仰られました。とても心に響きました。只、公演中、青木会頭のジャケットの袖口がペロンとめくれており、気になって気になって仕方がありませんでした。「彼も人なり、我も人なり」。講演はきちんと聞きました。一番テンション上がったのは、道川常任理事です。